

教育実践研究科

教育プログラムの名称：教職実践専攻

授与する学位の名称：教職修士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び教育実践研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム（教職実践専攻）では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「教職修士」の学位を授与します。

1. 地域社会のニーズと実態を踏まえ、地域との関わりの中で学校教育を活性化することのできる高度な専門性を身に付けている。
2. 学部段階で修得した資質・能力を基盤に、より実践的な指導力・展開力を備え、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員としての資質・能力を身に付けている。(学部新卒学生)
3. 地域や学校における指導的役割を果たし得るスクールリーダー（中核的中堅教員等）に不可欠である確かな指導理論と優れた実践力・応用力を身に付けている。(現職教員学生)
4. 実践の省察等を通して、実践的研究課題を探究し、論理的に発表することができる。
5. 同僚や地域社会と連携し、スクールリーダーとして学校改革を推進することができる。
6. 学習科学と教科内容の特段の専門性にもとづき、授業改善を進めることができる。
7. 特別な支援を要する児童生徒に対して高度で専門的な対応を行うことができる。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大院教育実践研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、教職実践専攻の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 教職に係る高度な専門性の基盤として、5領域の「共通科目」を配置する。
2. 「理論と実践の融合」の中核となる「学校における実習科目」を配置する。
3. 教職の専門性の高度化に対応して、4分野の「分野選択科目」を配置する。
学生は、入学後に、4分野のうち一つを選択し、各自の専門性を高めるよう

にする。

4. 総合大学のメリットを活かし、深い学問的知識と広い視野を育成できるように授業を配置する。
5. 現職教員学生と学部新卒学生の学び合い等を効果的に加えて、実践的指導力の育成に特化した教育内容、フィールドワーク、事例研究、ロールプレイングやアクションリサーチ等を、実施する。
6. 「理論と実践の融合」の指導を行うにふさわしい指導体制を用意する。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

◆求める学生像

- ・教職を強く志向し、確かな授業力や高度な教科の専門性に基づく授業構成力、特別支援教育の実践力を身に付けたいという目的を持つ人
- ・確かな授業力と教科の専門性を備えて授業研究をリードしたり、特別支援教育をコーディネートしたりできる資質能力を身に付けたいという目的を持つ現職教員
- ・教育課程の編成や学校研究において学校の教育力を活性化できる資質能力を身に付けたいという目的を持つ現職教員